

# 平成30年度第2回尾張旭市男女共同参画審議会会議録

## 1 開催日時

平成30年10月15日（月）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時50分

## 2 開催場所

尾張旭市役所3階 講堂1

## 3 出席委員

松澤裕子、三浦庄三、唐井富博、岡崎信久、谷山れい子、近藤真記、安井順子、  
松原しず、田中広樹、永野博、山田恵子、鈴木一平 12名

## 4 欠席委員

0名

## 5 傍聴者

0名

## 6 出席した事務局職員

市民活動課主幹 西尾頼子、市民活動課男女共同参画係長 大津奈々子、  
市民活動課男女共同参画係主事補 石川礼奈 3名

## 7 その他同席者

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 根本匠子

## 8 議題等

- (1) 第2次尾張旭市男女共同参画プラン中間見直しの全体スケジュールについて
- (2) 第2次尾張旭市男女共同参画プラン中間見直しに係る市民意識調査について

事務局 (主幹)	<p>皆様、本日は、お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。市民活動課主幹の西尾と申します。</p> <p>ただ今から、平成30年度第2回尾張旭市男女共同参画審議会を開催いたします。終了は午後3時頃を予定しておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日は、11名の委員の方に御出席いただいております。山田委員におかれましては、所用により遅れると御連絡をいただいております。</p> <p>尾張旭市男女共同参画審議会規則第4条第2項の規定する過半数の出席を得ておりますので、本審議会は成立しておりますことを、まずもって御報告申し上げます。</p> <p>また、本会議は、市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき、傍聴を認めていること、また「附属機関の会議録等作成に関する基準」に基づき、情報公開の対象となりますことも、あわせて御了承ください。</p> <p>それでは、会議開催にあたりまして、尾張旭市男女共同参画審議会会長の松澤裕子様より、御挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p>&lt;挨拶&gt;</p>
事務局 (主幹)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に、資料の御確認をお願いいたします。</p> <p>&lt;資料の確認&gt;</p> <p>お持ちでない方は、お申し出ください。</p> <p>本日は、プランの中間見直しに関する支援をお願いしております株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の根本さんに出席していただいておりますので、御紹介させていただきます。今後、プラン見直し関連の審議会には同席していただきますので、御承知おきください。</p> <p>それでは、早速ですが議事に移らせていただきたいと思います。進行につきましては、当審議会の議長であります松澤会長をお願いいたします。</p> <p>松澤会長、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議事に移らせていただきます。</p> <p>次第2 報告「第2次尾張旭市男女共同参画プラン中間見直しの全体スケジュールについて」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (係長)	<p>&lt;説明&gt;</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上、事務局より報告がありました。今後は、このスケジュールに沿ってプランの見直しを行っていくとのことでした。審議会も関わっ</p>

	<p>ていくこととなりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、次第3 議題「第2次尾張旭市男女共同参画プラン中間見直しに係る市民意識調査について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (係長)	<説明>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、事務局より説明がありました設問案等について、審議会で検討していきます。先ほど、事務局より今回は計画の策定ではなく、中間見直しであることから、平成25年度に実施した市民意識調査の設問は大幅に変えないこと、また、調査対象者の年齢を国の調査や市のまちづくりアンケートに合わせて満20歳以上から満18歳以上に引き下げたことについて説明がされました。これらは基本的な市のスタンスのため尊重しつつ、審議会では設問の内容等について議論できればと思います。</p> <p>それでは、まず設問や調査票のレイアウト等について、何か御意見等ありましたらお願いします。</p>
岡崎委員	<p>3点、申し上げます。</p> <p>1点目、資料3の7ページの間19「あなたは、職場で以下のような制度を使って休暇等を取得したことがありますか。」という設問ですが、回答の項目は「①育児休業」「②介護休業」とあります。育児休業制度や介護休業制度の他に、企業によっては育児休暇制度や介護休暇制度がある場合もありますが、この設問は、企業独自の休暇制度も含めた制度全般について聞いているということでしょうか。</p> <p>2点目、5ページの間14「今後、男性が積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか」とありますが、色々な世代の方が回答されると思います。比較的積極的に参加している若い世代の方も増えているので、そのような人達が、この文章を読んでどう感じるだろうかと思いました。質問の意味は分かるのですが、表現が少しきついのではないかと思います。</p> <p>3点目、11ページの間25に「LGBT」という言葉が入っていますが、この言葉についての説明は入れないのですか。性的少数者という意味合いで使われていると思いますが、似た言葉に「SOGI」があり、その言葉との絡みをどうしていくのでしょうか。あくまで、この言葉を知っていますかという質問なので、ここに挙がっている言葉だけでもいいと思うのですが、どうでしょうか。</p>
事務局 (係長)	<p>3点目の御意見については、「SOGI」について知っているかを聞くと、「知っていた」と答える方は、とても少ないと思います。今後、市としてどのような言葉を使っていくかを検討する必要もあると思います。ただ、一般的には「LGBT」という言葉の認知度は高まっていると思います。</p>

議長	2点目の問14に関する岡崎委員の御意見については、いかがでしょうか。
事務局 (係長)	2点目については、この設問自体が、国の調査に合わせているため、国と同じ設問を当てはめています。国との比較をすることを考えると、あまり内容が変わらない程度に変えることはできます。庁内でも、設問の選択肢について「文字が多過ぎて答える気にならない」という意見が出ました。その辺りと併せて、検討したいと思います。言い回しを変えれば、もう少しやわらかい表現になるのではないかと思います。
永野委員	積極的に参加している人に対しては、「今後、積極的に参加していくためには」ではなく「より積極的に参加していくためには」というような表現がいいと思います。
議長	1点目の問19についての御意見に対しては、どのようにお考えですか。
事務局 (係長)	問19は、休業について聞く質問であり、「育児休業」「介護休業」という狭い意味で捉えています。「育児休業」と「育児休暇」は違うということを知っている人を前提にした設問です。分かりにくく、意図を伝えにくいかもしれません。
岡崎委員	私は、設問の文章に「休暇等」と書いてあったため、逆に広い意味で捉えて聞いているのかと思いました。
議長	設問の文章と用語の統一をしていただく方がいいかもしれません。幅広い意味合いで捉えていただいても問題はないでしょうか。
岡崎委員	「育児休業」と「介護休業」に固定するのであれば、設問の文章を「以下のような制度を使って」ではなく「以下の制度を使って」と「ような」を削除する方がいいと思います。
事務局 (係長)	狭く聞くという認識でありますが、広く捉えたとしても、特に問題はない設問だと思います。どちらにした方が施策に反映できるかを考えたいと思います。
永野委員	休暇が取れたか取れなかったか、制度があるかないか、この設問で何を聞きたいかだと思います。
事務局 (係長)	質問の意図としては、「育児休業」に限定した狭い意味です。その狭い意味で問19-1の質問につながっています。広い意味にするなら、問19-1を「休業」と「休暇」に分けて分析することはできなくなるため、問19-1も変更する必要があります。分けて分析する必要がなければ、変更してもいいと思います。
岡崎委員	施策の中身が「休業」についてうたっているため、本来は狭いところに特化して聞きたい設問だと思います。

議長	この件に関しては、事務局で検討をお願いいたします。 他に御意見や御質問等はございますか。
岡崎委員	このアンケート調査は、2000人に紙媒体で行うだけなのでしょう うか。年齢の幅が広がることで対象がどれくらい広がるかは分からない のですが、調査票数は増やさないのでしょうか。
事務局 (係長)	調査票数を増やす予定はありません。
岡崎委員	このアンケート調査は無作為ですが、市のホームページにリンクを 貼ってWEB上で調査することはできないのでしょうか。
事務局 (主幹・係長)	今のところ、市ではWEB上で調査をしたことがないため、考えて おりません。民間ではそのような調査もよく見かけますが、市ではな かなか難しいです。
岡崎委員	調査票にQRコードが付いてくるともありますが、調査票自体は もらった人しか見ることができません。
議長	WEB上の調査は、インターネットに関心のある人だけが回答をす る可能性があり、サンプルに偏りが出てしまうかもしれません。
事務局 (係長)	市全体で意識調査について検討をすることがあった時に、課題とし て挙げたいと思います。
岡崎委員	紙媒体を苦手とする世代が多くなってきていますが、そのような世 代でもスマートフォン等では回答してくれると思います。 前回の調査も2000人に調査票を配り、回収率が48.8%でし た。回収率は40%を超えればいいと言われているのでいいと思うの ですが、母数としては900人くらいにしかありません。調査は今回 で終わりではないと思うので、回収率を上げるための策を講じる方が いいと思います。
議長	ジャパン総研さんは、WEB上で調査をしている自治体を御存知で すか。
ジャパン総研	会長が言われた通り、サンプルに偏りが出てしまうことがあるため、 WEB上での調査は基本的にはしていません。ただ、男女共同参画の プランではなく、例えば観光プラン等、意識の特化した人に調査した い場合には行うこともあります。
岡崎委員	紙媒体でも、意識がある人はすぐに書いて提出してしまいそうです が、差が出てしまうかもしれません。
安井委員	調査票の送付は紙媒体限定で行うとしても、回答をQRコードや電 子メールでできるようにならないのでしょうか。
事務局 (主幹)	コストの問題や、どのような形で集計するかなどの問題が出てくる と思います。ただ、将来的には検討していく必要があると思います。

田中委員	<p>4点申し上げます。</p> <p>1点目、6ページの一番上に用語解説がありますが、5ページの問14の説明になるので、この用語解説も5ページに入らないでしょうか。</p> <p>2点目、4ページの問11では、回答によって次に問11-1に進むか、問11-2に進むかを点線で示していますが、点線の黒が濃いように思います。問11では1、2、3の選択肢があるのに点線で囲まれた1と2しか選択肢がないように見えてしまうので、点線の色をもう少し薄くする方がいいと思います。</p> <p>3点目、2ページの問6で家族構成を聞いていますが、住民登録上の世帯で判断するのか、それとも一軒に住んでいけばいいのか疑問に思われる方も多いので、分かりやすく注意書きがあればと思いました。</p> <p>4点目、調査票全体についてですが、この調査票からは「男は家事をしない」「今は外で働く女性が増えている」という印象を受けました。ただ、先ほど話にもありましたが、今は女性よりも男性が家事をしている場合もあります。専業主婦だけでなく、専業主夫という言葉もある世の中です。今回は中間見直しですが、抜本的に見直すときには、そのようなことも入れていただけると、今の時代により合ったアンケート調査になるのではないかと思います。</p>
事務局 (主幹・係長)	<p>1点目については、用語解説を同じページに収めるのが一番よかったのですが、どうしても入らず次のページになりました。庁内からも同じ指摘を受けております。問14の設問文内の用語に※や下線を付け、次のページに解説があることを分かるようにさせていただきます。レイアウトについても、ジャパン総研さんと相談して調整したいと思います。</p>
鈴木委員	<p>レイアウトについてですが、縦書きのセンタリングがずれている箇所があるので、それも調整してもらいたいと思います。</p>
永野委員	<p>市民意識調査の1ページ目に「調査ご協力のお願い」、「ご記入に際してのお願い」があり、「男女共同参画社会とは…」という説明があります。それを、最初に「男女共同参画社会とは…」という説明、次に市としてはこのようなことに取り組んでいるので協力をお願いします、という流れにする方がいいのではないのでしょうか。</p>
事務局 (係長)	<p>1ページ目のレイアウトについても、ジャパン総研さんと相談をさせていただきます。</p>
議長	<p>表紙の一番下に「男女共同参画社会とは…」という説明がありますが、あまり前知識を入れてから回答しない方がいい箇所もあるのでしょうか。この程度の理解で回答してもらった方がいいということですか。</p>

事務局 (係長)	はい、そうです。
議長	田中委員の御質問の3点目、2ページの家族構成についてはどうでしょうか。
事務局 (係長)	住民票の世帯と限定したものでとらえてはいません。世帯を分けた2、3人が一軒に住んでいる場合や、違う世帯でもパートナーとして暮らしている場合もあるかもしれませんので、そのあたりは広く考えていただいて良いと思います。また、注釈は入れた方が良いとは思いますが、住民登録上のことを文面で説明すると逆に分かりにくくなるかもしれません。他市の事例等も見ながら、検討させていただきます。
唐井委員	9ページの間22「B 大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす」とありますが、この二つを同列にすることに違和感があります。どちらかと言うと、Gの「相手をののしる」の方が「大声でどなる」とリンクしているのではないのでしょうか。「刃物などを持ち出しておどす」は、少しかけ離れているように感じます。
事務局 (係長)	確かにおっしゃる通りだと思います。ただ、5年前の調査もAからHまでの同じ項目で行っているため、ここで変えてしまうと統計としてどうでしょうか。
ジャパン総研	前回のデータと全く違ってしまうため、参考程度の比較になってしまうと思います。今回のデータを示すと同時に、前回はどのような質問でどのようなデータだったかを参考として示すことになります。
事務局 (主幹)	データを比較する関係もあるため、今回はこのままの内容でさせていただきます、新たに計画を策定する際に今の御意見を参考にさせていただければと思います。
山田委員	先ほどの話にもありましたが、1ページの「男女共同参画社会とは…」という説明を上を持っていく方が、読み手として見やすくなると思いました。 また、「ご記入に際してのお願い」の4に「下記までお願いいたします」とあり、「お願い」が重なってしまうので、「下記となります」等、語尾を変えていただく方がいいのではないのでしょうか。 それと、市長の名前の文字サイズが大きいので、本文とサイズをそろえる方がバランスよくなるのではないかと思います。
事務局 (主幹・係長)	市長の名前は、本文と同じ大きさにさせていただきます。位置については、他のレイアウトと併せて検討したいと思います。「お願い」についても言葉を修正いたします。
議長	8ページの間21は新規で追加になった設問ですが、前回の調査票(資料1)の8ページの間19に比べて、選択肢の内容が抽象的過ぎるような気がしました。前回は、女の子の場合と男の子の場合に分けられており、それぞれ選択肢がありました。その中で「家事能力(料

	理、掃除など)のある子に育てほしい」「経済力のある子に育てほしい」「リーダーシップのある子に育てほしい」「4年制大学以上に進学させたい」の選択肢が今回は除外されていますが、その理由を教えてください。
事務局 (係長)	前回、平成25年度の調査票の問19に「家庭における子どもの育て方についておたずねします。」とありましたが、これを聞いて施策へどう反映するか難しい部分がありました。そこで、違う設問に変えることにしたのですが、教育関係の設問だったため、担当部署にも内々で設問内容の確認をしていただき、新規で問21を作成しました。ただ、問21の設問の回答から、どう施策に反映できるかというところも確かにあります。
副会長	問21については、丸をいくつ付けるか注釈がありませんが、いくつなのでしょうか。
事務局 (係長)	三択で丸は一つ付けてもらうことになります。
近藤委員	問21の選択肢に「性別にとらわれず、個性を伸ばして育てほしい」とありますが、「女」か「男」か「個性」か、という選択になっているようにみえます。
事務局 (係長)	選択肢の「性別にとらわれず、個性を伸ばして育てほしい」については、庁内でも「個性を伸ばして」を削除して「性別にとらわれず、育てほしい」だけでいいのではないかという意見もありました。
副会長	この選択肢から一つを選ぶのは、厳しいように思います。
事務局 (係長)	担当部署の職員とは、今は時代的に「男だ、女だ」と言わずに、その子の持ったものを伸ばしてあげるのが良いのではとされているので、そのような内容の設問はどうだろうか、という話をしました。そうすると、選択肢の1が正解に見えますが、一概に断言できない部分もあるため難しいです。 ただ、前回の設問だと、男の子、女の子とはっきり分けて傾向を読み取ることで、学問的な研究の資料にはなっていると思うのですが、施策へ反映できているかは微妙なところです。
議長	「子どもたちにどのように育てほしいか」という設問は、自分の子どもという想定ではなく、一般的な子どもたちという想定だと思いますが、自分の子どもへの思いと一般的な子どもたちへの思いにズレはないのでしょうか。世の子どもたちは性別にとらわれずに育てほしけれど、自分の息子には男らしく育てほしいという思いもあるかもしれません。
事務局 (係長)	今回のアンケートは18歳以上が対象ですが、18歳では子どもがいない人がほとんどだと思います。ただ、子どもがいない人は次にお進みくださいという設問にしてしまうのもどうかと思います。



松原委員	「子どもたちがどのように育ってほしいか」に対して、「個性」「女らしく」「男らしく」の三つの選択肢では紋切り型のような印象を受けます。将来のある子どもたちに期待しているのに、この選択肢ではさみしいので、あと2、3選択肢を追加してほしいと思います。
議長	今、松原委員がおっしゃったように、他の設問に比べるとここだけ選択肢の数がさみしいように思います。そのような意味でも違和感があります。
岡崎委員	問21の設問は、「教育における男女共同参画」という項目に合わないような気がします。教育施策について聞きたい設問だと思うのですが、皆様のお話を聞いていると、教育ではなく全般的な話になっているため、目的がはっきりしていないように思います。載せるのか載せないのか、教育なのか全般的なのか、はっきりとした方がいいのではないのでしょうか。「性別にとらわれず、個性を伸ばして育ってほしい」だけでは、教育は何も変わらないと思います。
谷山委員	回答者の年齢層も幅広いため、余計に目的がはっきりとしないのではないのでしょうか。
事務局 (係長)	問21に関しては、もう一度持ち帰らせていただき、これを修正していくのか、新しい設問を作成するのか、検討させていただきます。また、皆様にお諮りするのが良いと思うのですが、時間的な問題もあり、会長に御確認をいただく形をとらせていただければと思います。
鈴木委員	選択肢に、「その他」を設けて自由記述してもらおうというやり方もできるのでしょうか。
事務局 (主幹・係長)	一番下に「その他」を設けて自由回答をしていただく形の設問も多いので、そのような形でもいいかもしれません。
岡崎委員	前は、最初に学校教育における男女共同参画についての設問があり、次に家庭・地域教育における男女共同参画についての設問でした。そのような分け方をしているので、前回の調査結果を参考にすることを考えると、今回も同じように学校教育と家庭・地域教育に分ければ、回答も経年比較しやすくなるのではないかと思います。
議長	確かに、前はそのように分けていますね。ただ、家庭教育に施策でどれだけ入り込めるかだと思います。
事務局 (係長)	前回の設問に戻すことも考えたいと思います。施策へ反映ができるか、できないかは、見直しの中で考えていく部分だと思います。前回と同じ設問に戻して比較し、その結果を中間見直しに盛り込めそうであれば入れれば良いと思いますし、盛り込めなければ現状はどうだったかを見ていく資料にするという形もございます。それも含めて前回に戻すことを前提で考えていきたいです。
議長	他に、御質問や御意見はございますか。

	<意見なし>
議長	<p>新規と変更があった設問については、すべて委員の皆様から御意見を出していただきました。今の御意見を参考にしながら、設問等を事務局でまとめ、意識調査を実施していただければと思います。</p> <p>問21に関しては、修正案を私に送っていただければ、責任を持って判断させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では次の次第に移ります。次第4「その他」について、事務局から何かあればお願いします。</p>
事務局 (係長)	<p>連絡事項になりますが、全体スケジュールについて、今年度の冬に見直しに係る審議会の開会を予定しています。12月までに日程を確定し、委員の皆様にお知らせいたしますので、御出席の程、よろしく願いいたします。</p> <p>お手元のリーフレットですが、昨年、審議会で性的少数者についての資料や情報があれば流して欲しいというお声をいただきましたので、本日お配りしております。男女共同参画ではなく人権の事業のもので、分かりやすいリーフレットとなっておりますので、参考にいただければと思います。</p>
議長	ありがとうございます。委員の皆様、他に御意見や御質問等がございますか。
	<意見なし>
議長	<p>では以上をもちまして、平成30年度第2回尾張旭市男女共同参画審議会を終了させていただきます。</p> <p>皆様、お忙しい中ありがとうございました。</p>